

# 緑のセンターだより

公益財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター(相談所)

〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel 0166-65-5553 Fax 0166-65-5626

旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>



No.201

発行: 令和5年4月1日

## 講習会のご案内 (お申込み・受付は前月の20日から)

講習会は、午後1:30~3:30 詳細は、広報旭川市民「あさひぼし」掲載

### 「神楽岡公園 春の自然観察会」

～春の野草をさがそう～

日時 令和5年5月3日(水) 定員15名

講師 植物研究家 塩田 惇さん

### 「令和5年度の病害虫講座」

(野菜、果樹、花き、他)

日時 令和5年5月13日(土) 定員20名

講師: 緑のセンター相談員

### 「山野草講座」～寄せ植え作り～

日時 令和5年5月14日(日)

定員10名 参加費3,500円

講師 園芸家 森下 光晴さん

### 「ミニカトレアを木片で育てる講習会」

日時 令和5年5月20日(土)

定員10名 参加費1,000円

講師: 緑のセンター相談員

### 「ミニ盆栽講座(入門編)」

日時 令和5年5月21日(日)

定員10名 参加費3,000円

講師: 石花楽庵 森谷 隆一さん

### 「庭の雑草対策講座」

日時 令和5年5月27日(土) 定員15名

講師: 緑のセンター相談員

### 連続 「旭川で育てる宿根草の栽培講座」全2回

日時 令和5年4月23日(日)、

10月1日(日) 定員10名

講師: 緑のセンター相談員

### 連続 「コショウランの花を来年も咲かすための講座」全3回

日時 令和5年5月6日(土)、8月5日(土)

9月23日(土) 定員10名

講師: 緑のセンター相談員

### 連続 「四季成り風イチゴ栽培講習」全2回

日時 令和5年5月7日(日)、8月27日(日)

定員10名 参加費1,000円

講師: 緑のセンター相談員

## 展示会のご案内

### 「野の花写真展」

日時 令和5年4月15日(土)~30日(日)

作品提供 神田 亘雄さん

### 「山野草展」

日時 令和5年5月4日(木)、5日(金)

作品提供 北海道山草趣味の会

🌸 常磐公園花壇ボランティア募集のお知らせ 🌸

活動期間: 令和5年5月中旬から10月上旬(月1~2回、

主に火・金) 午前10時から約1時間半程度

申込・お問合せ: 公益財団法人 旭川市公園緑地協会

☎ (0166) 52-1934

### 【休館日のお知らせ】

4月~10月は、第2・4月曜日が休館日です。(祝日の場合は翌日)

11月~3月は、毎週月曜日が休館日です。( " )



## 4月の園芸作業

### 1、鉢花・草花・球根類

- **アザレア**は樹形を整える剪定をした後、固まったフェルト状の根を崩して3分の1くらい切り取って植え替えしましょう。
- **ゼラニウム**、**フクシャ**、**ポインセチア**などの徒長枝は間引きや切り戻し剪定をしましょう。
- 夏花壇用の**サルビア**や**マリーゴールド**などは上旬にタネを播きましょう。
- **チューリップ**は十分に肥大した球根であれば発芽できるだけの養分をたくわえていますので肥料は必要としませんが、生育が思わしくない場合は芽が出た頃に液肥を検討すると良いでしょう。その後の施肥は球根が腐る原因となりますので避けましょう。

### 2 庭木・果樹類

- 冬囲いは雪解け後すぐに取り外します。
- 花木類に化成肥料を施します。
- 越冬害虫のための石灰硫黄合剤散布は、芽が開き始める前に行います。

### 3 観葉植物類

- 日中は暖かくても夜間は温度が下がるので最低気温に注意し、凍霜害にならないよう気をつけましょう。
- つる性の株などは切り詰めて形を整えましょう。
- ハダニやオンシツコナジラミ、コナカイガラムシを見つけたら早めに防除しましょう。

### 4 多肉植物・サボテン類

- 成長を始めた種類は日当たりの良い窓辺で日光に当て、水やりや液体肥料の回数を徐々に増やします。
- 植え替えが必要な株は、水やりを控えて用土を乾かしてから行います。



## 5月の園芸作業

### 1 鉢花・草花・球根類

- **ペコニア**、**フクシャ**、**ゼラニウム**などは植え替えをして生長に合わせて水やり回数を多くします。肥料は置肥と液肥を併用しましょう。
- **アマリリス**など花が終わったものや花が咲かないものは植え替えをして日当たりの良い場所で育てましょう。
- **ペコニア**などの鉢花は曇りの日か雨の日に屋外に出し、外気に馴らしてから屋外に出しましょう。
- **ダリア**、**カンナ**は地温が10℃以上になり、降霜に気を付けて5月下旬以降に定植しましょう。
- 雪解けとともに芽を出す**フリムラ**、**シャクヤク**、**シバザクラ**などの宿根草は傷んだ葉を取り除き、完熟堆肥や腐葉土を与えましょう。

### 2 庭木・果樹類

- 苗木の植付けや移植は早めに行います。
- **ツツジ**などの花木は花後に剪定し、化成肥料を施します。
- **キョウチクトウ**、**ノボタン**など室内の窓辺で管理してきた花木は伸びた枝の剪定をします。
- 室内で冬越しした**ツバキ**などの鉢植えは少しずつ馴らしながら戸外管理に移します。

### 3 観葉植物類

- 2～3年経った鉢は早めに新しい用土に植え替えし、同時に徒長した枝は剪定して樹形を整えましょう。新芽が出てきた鉢は灌水を多くし、液肥を与えましょう。

### 4 多肉植物・サボテン類

- **アロエ**、**カネ/ナルキ**などの多肉植物やサボテン類は生長期なので、水と肥料を与えましょう。日中は晩霜に注意して少しずつ馴らしながら屋外管理に移行します。



# 〈我が家の庭づくり〉 早春編 庭の清掃と中耕

## 1. 雪解け最初の作業として庭の清掃をおこないます。

雪解け後は花壇や畑の上にたまっている落ち葉や枯れ葉を取り除き、落葉多年草の枯れた茎葉など昨年の秋に刈り残したものがあれば、地際から刈り取ります。トリトマやクリスマスローズ・ジギタリスなどの常緑や半常緑の種類は雪の下で越冬した葉が傷んでいることがありますので葉が変色(黒色・茶色・黄色等)しているものは付け根から取り除きましょう。

\* 清掃で集めた落ち葉や茎葉等は庭の空きスペースに積んで堆肥を作ります。



落ち葉は集めて運び出し腐葉土に



## 2. 清掃が終わったら中耕という作業をおこないます。

(植物の芽が動き出す前が適期です)

### ① 庭全体に腐植を敷きます。

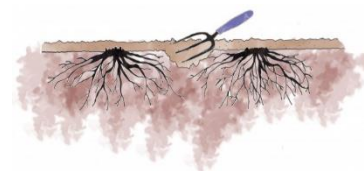
腐植は完熟堆肥や腐葉土・バークなどがおすすめで厚さ5cm～8cm程度に敷き詰めます。

### ② ショベル・フォーク・ハンドホー(手鍬)などで表面を耕します。

土の表面の数センチをひっかきながらかき混ぜます。腐植を加えてから中耕を行なうことで土壌の通気性や保水性を良くすることができます。

\* 作業時には、早春に咲く宿根草がすでに芽を出していたり花を付けている場合もあるので、踏みつぶさないよう注意しながら行いましょう。

雪解け直後のクリスマスローズ



フォーク等で表面をかき混ぜる

## 植物の病気 その 12

### 令和5年 特に注意する病気(トマトの青枯れ病及びかいよう病)

トマトの青枯れ病及びかいよう病はともに細菌病で、高温と湿潤条件を好みます。令和4年は各地で散発しました。両病原細菌とも発生ほ場の土壌中で残存し、トマトが定植されると再び発病することから対策が必要です。青枯れ病が発生しやすい植物は トマト、ジャガイモ、ナス、ピーマン、イチゴ、ダイコンなど。かいよう病はトマトのみに発生します。防除方法は以下を参照してください。

- 1 発病ほ場では、ナス科以外の作物(イネ科など)を栽培し、5～6年間は輪作を行います。
- 2 過剰な土壌水分は発病やその後のまん延を助長しますので、排水良好な土壌条件にします。また、多窒素、未熟有機物の多施用、連作は多発の原因となります。
- 3 芽かき作業などは晴天時に行うほか、刃物の使用消毒を行います。
- 4 青枯れ病は、太陽熱消毒や土壌燻蒸剤による土壌消毒と抵抗性台木の合わせ技が効果的です。土壌燻蒸剤には、成分名「ダゾメット」、商品名(バスアミド微粒剤、ガスタード微粒剤)を1㎡当たり30gを、は種又は定植21日前までに均一に散布して土壌と混和し、土壌表面をビニール等で被覆します。
- 5 土壌消毒が困難な場合は抵抗性台木を利用します。(深植えすると効果がなくなるので注意する。)



青枯れ病



かいよう病

## チューリップの花後の管理

春の花の代表、チューリップは初心者でも育てやすい秋植えの球根植物です。現在、日本で流通されている品種は 100 種類ほどといわれていますが、近年では花色や花姿だけでなく、草丈、開花期の早晩、香りの有無、切り花用、ベランダ・花壇・室内向けなど用途に応じて 8,000 種以上の品種があるといわれています。



### 翌年も花を楽しむために

- ① **球根を育てる**・・・チューリップは花が咲くころから、地中では翌年開花する新しい球根が育ち始めます。この球根を立派に育てるためには、花が終わったら種を着けないように花首から上を切り落とし、葉は全て残しておきます。また、葉が緑色の間は地中の球根を育てているので、土が乾燥し過ぎないように水やりすることも大切です。(この時期の肥料は球根が腐る原因になるのでやりません。)
- ② **掘り上げの基本**・・・**チューリップは植えっぱなしでも OK ??**



旭川の気候は内陸型で夏の最高気温は令和3年8月7日に記録した 37.9℃です。チューリップはもともと高原地帯の涼しい環境で生育していた植物なので蒸し暑い高温な場所は嫌いです。また、球根を植えっぱなしにしていると高価な球根ほど消耗して、土の中で弱ったり、翌春、花を咲かせることができなくなるので、定植する秋までの間は球根を掘り上げ、風通しの良い涼しい場所に保管することが望まれます。掘り上げは、地上の茎葉が緑色から黄変して自然に枯れて始めたころに、

晴が続く日を選んで行います(早咲き品種は6月下旬頃、遅咲き品種は7月上中旬が目安)。球根の保管は、球根を水洗いすると腐る原因になるので水洗いはせず、土を落として大きめの球根を玉ねぎネットなどに入れ、植え付けする 10 月頃まで雨や日が当たらない風通しの良い所で保管します。

- ③ **増やし方**・・・球根を掘り上げた時に子球(分球という)が数個出てきます。小さな球根は翌年、花を咲かせることが期待できないので、別のところに植えて養成し、開花球に仕上げます。

## 展示室の植物 (107)

### ベゴニア ベノーサ

学名: *Begonia venosa* シュウカイドウ科 シュウカイドウ属

花壇でおなじみの「ベゴニア・センパフローレンス」は温度さえあれば一年中開花する性質を持っていますが、ベゴニアはその姿・性質により木立性、根茎性、球根性、球根、レッグス、冬咲き種、エラチオールの8種類に分類されています。「ベノーサ」は木立性ベゴニアの仲間で、花よりも葉や茎に特徴があって、かなり肉厚の葉にはビロードのような白い毛のようなもので覆われています。ちょっと見は多肉植物にも見え希少扱いされることもありますがベノーサも多湿に弱く、葉に水があたると、白いビロード状の毛が流れて、ピカピカした葉になってしまうのでご用心。

